

優先交渉権者選考審査基準

審査項目		内容	配点	配点合計
実績・体制	同種業務実績	建築確認システム（LGWAN-ASP方式）の導入実績を評価する。	10	40
	配置予定技術者	管理技術者の業務実績を評価する。	10	
		照査技術者の業務実績を評価する。	10	
		担当技術者の業務実績を評価する。	10	
提案	業務実施方針	本業務の内容・性質が理解されているかを評価する。	10	170
	システム全体内容	システム全体の構成や各機能群について、本業務の目的を理解し、要求機能が満たされた内容であるかを評価する。 着目点：拡張性、互換性、操作性	90	
	データ移行	システムへのデータ移行の手法について評価する。	10	
	情報セキュリティ対策	導入するシステムや使用するデータセンターについて、適切なセキュリティ対策が施されているかを評価する。	20	
	業務実施工程	システム導入時期を見越した、適切な工程計画になっているかを評価する。	10	
	その他の有益な提案	その他、本業務の実施にあたって有効と思われる独自の提案がなされているかを評価する。	30	
プレゼンテーション	プレゼンテーション	説明のわかりやすさと市からの質疑に対する対応状況を評価する。	10	40
	デモンストレーション	システムの処理性能及び操作性（台帳管理、帳票出力、台帳検索、集計機能、図形出力等）について評価する。	30	
機能要件一覧		機能要件を実装しているか評価する。	30	30
価格点		見積額が提案上限額の80%以下の場合には一律に20点とし、80%を超える価格の価格点については、次の計算により算出する。 価格点 = ((提案上限額 - 見積額) / (提案上限額 - 提案上限額の80%)) × 20点 ※小数点以下切捨て。 ※消費税及び地方消費税を含む。 ※提案上限額を超える場合は、失格とする。	20	20
審査合計点				300